



令和5年10月31日

# 永福学園通信

第6号

東京都立永福学園  
校長 緒方 直彦

## 意思決定支援について

朝夕と肌寒さを感じる季節になりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて現在、障害者権利条約批准に伴い、特に福祉の分野において意思決定支援の重要性が示されています。意思決定支援とは、「自らの意思を決定することに困難を抱える障がい者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援し、本人の意思の確認や意思及び選好を推定し、支援を尽くしても本人の意思の確認や意思及び選好の推定が困難な場合には、最後の手段として本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組み」をいいます。\*

「私たちのことを、私たち抜きに決めないで～Nothing About Us Without Us～」という言葉があります。この言葉（考え）は、障害者権利条約を作成する際にも重要視されました。そして、この考えは、学校教育においても重視しなければならないと私は考えます。そのために、本校では、学校評価において、児童・生徒による本人アンケートの実施とともに、外部の専門家に依頼して、率直に生徒が意見を述べる機会「永福学園をもっとよくする会」を昨年度から実施しています。

また、「意思決定支援」には3つの基本原則があります。1点目は「自己決定の尊重と分かりやすい情報提供」、2点目は「不合理と思われても他者の権利を侵害しなければ尊重する」、3点目は、「本人の自己決定や意思確認がどうしても難しければ、関係者が集まり、意思を推定する」ことです。つまり、本人以外の他者が本人にとって最善の利益を判断することは最終的な手段なのです。

私自身を振り返ってみると、児童・生徒の意思を最大限に尊重した指導・支援ができていたか、関係機関と連携した個別の教育支援計画の作成等についても、最終手段を安易に選択していなかったかと自問自答すると、反省することの方が多く思います。将来の生活は、現在とつながっています。永福学園は、児童・生徒一人一人の意思を最大限尊重し、自己選択・自己決定できる力を伸長する教育を行ってまいりますので、今後とも本校の教育活動への御理解・御協力よろしくお願いたします。

校長 緒方 直彦

【参考】※「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン（厚生労働省）」



# One School!! One Team!! 2023



## キャリアパスポートの活用について

### 【肢体不自由教育部門】

#### 令和6年度からの取組 キャリア・パスポート「(通称) きらり・パスポート」

キャリア・パスポートとは、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、自身の変容や成長を自ら振り返ったり、将来を見通したりするポートフォリオのことで、将来の進路選択・自己実現の力を育むための教材です。

1年ごとの「きらり」と輝いた場面を写真や文章で自己の経験を簡潔にまとめ、毎年定期的に成長を振り返ることで、自己理解を深め、主体性を促し、将来を展望する一助とします。

具体的には、①国語や算数・数学等の通常の「学習」、②校外学習や音楽会等の「行事」、③検定・部活動や地域活動等の「その他」、一人一人の「きらり」を学習活動の中で振り返ります。進路見学や進路実習などの「進路学習」の記録も加えます。

振り返りや記録の作成には、小・中学部ではGIGA端末、高等部では一人1台端末を活用します。TeamsアカウントのOne Drive内に、児童・生徒一人一人が、12年間のポートフォリオ（ファイル）を作成することで、子どもたちがいつでもアクセスできるよう準備をすすめています。



主任教諭：宮崎 卓矢

### 【就業技術科】

#### オリジナルキャリアパスポート「永福学園手帳」

「キャリア」という言葉を検索すると、生き方、経歴、職歴という言葉が出てきます。就業技術科では永福学園手帳に「将来の自分」、そして「今の自分」を考えるページを設けています。期毎の始まりに、これからの自分の将来に向けた目標を立て、そのために必要な力、自己分析、周りの人的環境・資源を具体的に考えます。期毎の終わりには同じ内容で振り返りを行い、3年間で6回（6期）行います。

3年間で、生徒の皆さんの考え方に変化が見られ、この永福学園手帳への記録もそれぞれ変わっていきます。まさにこれが成長です。

記録をするだけでなく、過去の記録を見返し、自分の気持ち（記録）の変化を確認することでより成長を感じることができます。3年生は現在、履歴書を作成しています。最終的な採用選考に向けて必要な、正式な書類です。自分の今までの経歴や頑張り記録し、自身の紹介その会社での自分を想像しながら、一字一字思いを込めて記入します。

卒業後の生活につながる大切な一歩のために、そして、半年後には社会人となっている自分を想像しながら。



主幹教諭：秋谷 昌義

### ★編集後記★

永福学園に入学してから、たくさんの人に出会い、共に学び経験する中で、少しずつ成長していくことは、児童・生徒も周りの大人もふとした場面で気付くものです。過去の自分と未来の自分をつなぐパスポートが、「キャリアパスポート」です。去年書いたページを見返すとき、卒業するとき読み返すとき、こんなに幼かったのかとか、あの頃は自信がなかったのかなとか、振り返りそして未来の自分を描いてみることで、自分自身で歩む道を選んでいきます。児童・生徒自身が作る自由な旅の「旅券」ですね。

主幹教諭：土田 律子

### 東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉  
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381

<https://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>